



青少年ひょうご No.89



特集

ふるさとづくり青年隊 視察レポート

ひょうご青少年憲章

- 1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

地方青少年本部

阪神南青少年本部 06-6481-4634	西播磨青少年本部 0791-58-2131
阪神北青少年本部 0797-83-3138	但馬青少年本部 0796-26-3648
東播磨青少年本部 079-421-9105	丹波青少年本部 0795-72-5168
北播磨青少年本部 0795-42-9352	淡路青少年本部 0799-26-2048
中播磨青少年本部 079-281-9198	神戸事務所 078-382-8249

〈CONTENTS〉

- P2 ★ 特集記事
- P4 ★ 本部事業報告
- P5 ★ 青少年施設だより
 - ・県立神出学園
 - ・県立山の学校
 - ・県立こどもの館
- P6 ★ 地方青少年本部通信
- P8 ~information~
 - 賛助会員募集

編集・発行 2015年10月発行

公益財団法人 兵庫県青少年本部

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8階

TEL078-891-7410 FAX078-891-7418

HP <http://www.seishonen.or.jp/>

ふるさとづくり青年隊 視察レポート

地域の活性化と、将来の地域づくりの核となる青年の人材育成を目的とした『ふるさとづくり青年隊』事業も2年目になりました。今年度採択されたのは、北は豊岡・南は淡路島までの全12団体となっており、そのうち今年度からの新規事業は6団体、昨年度からの継続事業6団体が、それぞれ各地域で活動しています。

細田サポーターのるんるん小代日記♪

『俺たちの武勇田』編

地域の高齢化により休耕田が増えてしまった香美町小代地区の棚田…

地元青年は立上がった！

「何としてもこの棚田を守る！」

『俺たちの武勇田』結成！！

初めて訪れた小代の大自然に感激！（小代に嫁入りを決めている神戸から参加の北田さんと♪）

手植え・手刈りで収穫するには人手が必要

日本百選に選ばれた「うへ山の棚田」は地元住民の誇りです

『武勇田』の活動に賛同、協力してくれるのは、地元村岡高校の生徒さん・奈良教育大学学生・国際ワークキャンプのボランティアの若者たち！

地元の温かな人柄が、また小代に来たい！と思わせてくれます。

湧水を100%使い、昼夜の寒暖差で「武勇田米」は美味しい☆と評判です。

公募青年の井上君は初めての稲刈り体験に泥まみれで奮闘。頑張ったね！

◆視察を終えて◆

『俺たちの武勇田』は日本一美しい村と謳われるほど素晴らしいところ。
7月の草取りで初めて訪れ、9月には青年達と泊りがけで稲刈りに汗を流しました。泥の中を裸足で黙々と作業する青年達に小代を愛する思いを感じました。
厳しい現状に立ち向かいながらも温かな地元のお人柄に、青年達との絆は作られていると思いました。

ふるさとづくり青年隊！みんな頑張っています！！

《新規事業団体》



『街はカーニバル!!プロジェクト』
“かわにし音灯り” イベント
(川西市)



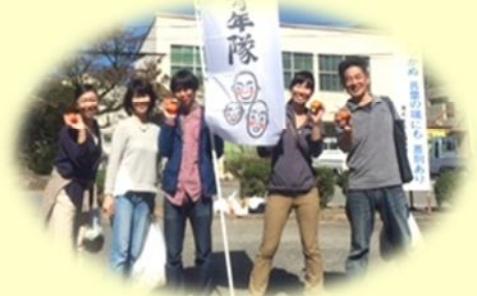
『龍野城下町むかしみらい学校』
旧味噌蔵“伊勢屋”復活
(たつの市)



『相生らじお』
相生の魅力を発信
(相生市)



『伊丹郷町連合会』
伊丹ダンスバルの開催
(伊丹市)



『神戸大学篠山フィールドステーション』
農村でどんどん夢をかなえて暮らす
(篠山市)

《継続事業団体》

『鉱石の道 明延実行委員会』
“一元電車まつり”を通して、
過疎化の進んだ町を活性、老朽化
する産業遺産の保持・保善に貢献
しています。(養父市)

『家島ふるさとづくり協議会』
島のPRをかねた土産作りと
特産品販売のしくみづくり・
販路拡大に取り組みます。
(姫路市)

『Next Door』
紀比の浜キャンプ場か玄武洞
(ジオパークエリア)で地元と交流
できる野外イベントを今年度も
計画しています。(豊岡市)

『空き缶でもうけてもええ会』
“シティの日”は出張カフェや
出張居酒屋で青年隊が、地元の方
をおもてなしします。
(佐用町)

『伊丹商店連合会』
今年で2回目のGREEN JAM
は大成功でした！
KIDS JAM も輝くママが大活
躍していました。(伊丹市)

『これからの島のくらしを
つくる学校の放課後』
島の自然や古民家・空家を活かした
イベントの実施。地元の活性化
に貢献します。(南あわじ市)

兵庫県青年洋上大学海外養成塾

隔年で実施している兵庫県青年洋上大学海外養成塾は、今回で3回目(青年洋上大学としては35回目)になりますが、9月10日から5泊6日で、52名の塾生をはじめ総勢60名で実施しました。

国際的視野を身につけた次代を担う青年リーダーを育成するため、友好提携25周年を迎えた中国海南省やアジアビジネス最前線の香港を訪問しました。

海南省では、省政府表敬訪問で李副省長をはじめ、多くの幹部や職員により熱烈な歓迎を受けました。海南師範大学との交流では、林学長にも出席いただいた対面式に始まり、島内班別行動、キャンパス見学と振り返り、と3日間にわたるプログラムにより、未来へつながる交流ができました。



香港で日系企業3社を訪問し、各社トップから講演をいただきました。また夜には、香港兵庫県人会との交流会を催し、様々な話を聞くことが出来ました。

盛り沢山のプログラムに、塾生も積極的に取り組んでくれたので、無事帰国することができました。

塾生からは、現地青年との交流をはじめ、新たなつながりができた、貴重な話が聴けたという意見が寄せられています。今後のつながりに期待します。



ひょうご出会い支援事業の成婚カップル1000組突破

平成11年7月に「このとりの会」が発足して以降、平成18年6月には「ひょうご出会いサポートセンター」を開所し、平成23年2月から「ひょうご縁結びプロジェクト・お見合い紹介」をスタートさせるなど、出会い支援事業を推進してきました。今年4月には、成婚カップルが1000組に到達しました。

今後も、ひょうご出会いサポートセンターでは、独身男女に良い出会いがあるよう、様々な出会いの機会と場を提供していきます。



1000組目カップルお祝いセレモニー(兵庫県公館)

ひょうご出会いサポート東京センター開設

ひょうご出会いサポートセンターの取組みを一層充実するとともに、兵庫県へのUJIターンの増加を図るため、8月27日に「ひょうご出会いサポート東京センター」を開設し、東京近郊に在住の独身男女に対して出会いの支援を実施しています。



住所：東京都千代田区大手町2-6-4

(東京駅より徒歩5分)

開館日時：火、水、金、土(週4日)

平日 10:00~18:30

土曜 10:00~17:30

電話番号：03-6262-3035

URL：<http://hdsc.seishonen.or.jp/>

県立神出学園

不登校から元気・友達・希望へ

県立神出学園は、不登校等を経験した子どもたちの自立を支援する学舎として、平成6年10月に開設されました。現在、中学を卒業した23才未満の男女が、不登校等によって進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路等を見つけないといけない思いを持って、体験活動プログラムや寮での共同生活を送っています。

平成27年度は、学園修了後二次の進路で力を発揮できるよう、新しいプログラム等を展開しています。その一環として、この夏に東北ふれあい交流事業を実施しました。ひょうごボランティアプラザの協力のもと、宮城県亘理郡山元町において、夏祭りへの参加や地元住民との交流を4泊5日で行いま

した。学園生は、達成感や自信に満ちあふれた表情で神戸に帰ってきました。事業実施後には兵庫県の金澤副知事を表敬訪問し、その成果を報告しています。また、学園生以外の方が、日帰りで参加できる「1日交流体験」も実施していますので、参加を希望される方は、神出学園までお問い合わせください。



問い合わせ先 県立神出学園 TEL078-965-1122

県立山の学校

元気・やる気・自信・笑顔づくり

県立山の学校は、豊かな自然の中でさまざまな体験活動と寮での共同生活を通して、よりよい人間関係を育みながら、たくましく生きる力を培い、進路実現に向けて、「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援している修学期間1年の全寮制の学校です。15歳から20歳までの男子が在籍していますが、近年では、学校生活に馴染めなかったり、不登校になってしまった生徒も入学しています。

チェーンソーや刈り払い機を使った環境整備や氷ノ山登山、千種川沿い縦走等の野外活動を行っているほか、森林環境や林業の基礎を学ぶ座学なども実施しています。今年度の目玉の取組として、生徒が作った木製ベンチを東日本大震災

の被災地のコミュニティ場所に設置し「心の復興」を目指したボランティア活動を実践しています。また、従来の「チャレンジ体験」は、年間6回開催し、概ね25歳までの県内在住の男女を対象に、本科生のカリキュラムに準じて体験活動ができるよう参加者を募集しています。希望者は、山の学校までお問い合わせください。



問い合わせ先 県立山の学校 TEL0790-62-8088

県立こどもの館

「こどもの館劇団」

県内の中学生・高校生から「こどもの館劇団」の劇団員を募集し、応募した10人(中学生2人・高校生8人)が夏休み期間中12日間こたつて練習を行いました。



8月22日(土)・23日(日)の2日こたつて、円形劇場で発表会を行い、連日、満員で約400名が鑑賞し、大盛況となりました。

こどもの館劇団の結成は、平成3年に遡り、今回で25回目の発表会となります。今では、こどもの館の中でも人気ある名物イベントの一つとなっています。

今回は、「未来・夢に向かって世界へ絆をつなごう」をテー

マとし、「アッチヘコッチヘ世界一周」と題して行いました。

内容は、ブラジルの王子が80日間で世界一周できればめでたく姫路城に住む姫と結婚できるという物語で、様々な障害を乗り越えながら成長していく姿を描いており、劇団員が舞台上でエネルギッシュに躍動する姿に、会場から大きな拍手が送られていました。



【こどもの館休館のお知らせ】

こどもの館は、空調・冷暖房設備等の更新工事のため、平成27年11月9日(月)から平成28年4月9日(土)まで休館します。

問い合わせ先 県立こどもの館 TEL079-267-1153

● 地方青少年本部通信 ●

青少年育成や地域づくりの分野での様々な活動を各県民局（地方青少年本部）単位で推進・支援する地域活動コーディネーターが、地域のイベントや催事などを紹介します。今回は、次の6つの本部からの報告です。

神戸事務部

夏休み子ども木工教室の開催

8月21日（金）、毎年好評をいただいている「夏休み子ども木工教室」を神戸総合児童センターで開催し、たくさんの子どもたちが木工体験を楽しみました。この木工教室では、兵庫県産の杉角材2本を使用し、イス、本たて、ベンチ、新聞ストッカーの4種類の中から子どもたちが自分で選んだものを作ります。子どもたちは木の性質や作品の作り方の説明を聞いたあと、のこぎりや金づちなどの道具を使い、慣れない手つきで作



品を作り始めました。

四苦八苦しながらも、お父さんお母さんと協力して無事に全員が作品を完成させることができました。

「できた！」と作品を誇らしげに見せてくれた子どもたちは、ひとまわり頼もしくなったように感じました。

参加した子どもたちから「来年度も参加して次回は違う作品を作りたい！」という声もあり、子どもたちにとって、親子のふれあいやものづくりを楽しむことができた思い出深い夏休みの1日になったようです。（西山 愛）



阪神南青少年本部

親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦

今年の「親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦」は、子どもたちが夏休みに入った7月24日（金）に開催しました。参加した360名の親子の中には、小学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に参加する乳児や幼児、車いすでの参加もありました。ユニフォームを着てメガホンを持ち、顔にシールを貼ったりと、各自いろいろな形で応援していました。

「青少年を守り育てる県民スクラム運動“大人が変われば子どもも変わる。”の



啓発として、(株)阪神タイガースのご協力により、満員の観客に向けて場内アナウンスやバックスクリーンの電光掲示板に大きく映し出していただいたり、こころ豊かな人づくり500人委員会阪神南OB

会が手づくりした啓発うちわを、阪神ブロック子ども会の子どもたちが参加する親子1組1組に配布して呼びかけを行いました。エース藤浪投手等の活躍により見事タイガースが勝利し、親子で向き合って笑顔いっぱい嬉ぶ姿は微笑ましく、より一層盛り上がった親子ふれあい観戦となりました。（小野 有希子）



東播磨青少年本部

海外から見た日本と日本人「第36回未来をひらく少年会議」

～東・北播磨の中高校生120人が熱くディスカッション～

8月1日（土）、兵庫大学に於いて「第36回未来をひらく少年会議」を開催しました。東・北播磨の中高校生120人が集い「海外から見た日本と日本人」をテーマに、国際社会を生きる術や地域の魅力について学び、ディスカッションをしました。

最初に、(一社)明石市医師会事務局長の吉岡泰毅氏から、「フランスからみた日本」と題して、文化や習慣の違いを紹介、



理解しあう意義について解説いただき、「政治の壁は低く、文化の壁は高く」を目指してほしいと、メッセージを下されました。

その後、グループ毎に分かれて兵庫大学の学生さんをファシリ



テーターとして、「海外に自慢したい地域の魅力」についてのワークショップをしました。海外という大きなフィールドから、自分の住む地域へと視点を移し、学年や学校の垣根を越えて、熱心なやり取りの後、意見を一つに絞り、短歌として発表しました。

「見に来てよ 伝統のある 秋祭り」「かくれてた 魅力ある紙 杉原紙」など、地域の良さを海外に伝えたいという熱い思いに触れ、これから少年達が背負っていく地域に夢と期待がひろがりました。夏の一日、夢と希望を語り合う少年達の笑顔のまぶしさに私の心も充実感でいっぱいになりました。（橋本 りか）

北播磨青少年本部

第13回アイガモ CUP どろん子サッカー大会

6月7日(日)に県立やしろの森公園の水田で、どろん子サッカー大会を開催しました。

定員を大きく上回る177名の応募があり、抽選で選ばれた北播磨地域の小学生86人が参加しました。今年も、サッカーと馬跳び、障害物競走を実施。試合後は、陸上自衛隊のご協力



で「ドラム缶風呂」で泥と汗を流し、同公園で収穫したアイガモ農法米のカレー、プチトマトやゼリーを流す「デザート流し」などを楽しみました。



子ども達は、普段できない体験に「泥んこになって楽しかった!」「お風呂が気持ちよかった」と嬉しい感想を寄せてくれました。

大会の企画・運営は、兵庫教育大学の学生や地元青年会議所の有志で行い、授業や仕事終了後の貴重な時間を使って、10回に及ぶ会議を重ねました。子ども達の笑顔を見たい!という思いがかなった大会となりました。

来年度もたくさん子ども達に楽しんでもらえるよう工夫し、実施したいと思います。(笹倉 綾子)

西播磨青少年本部

親子ドラゴンボート体験教室

8月1日(日)、夏空を映して輝く相生湾で、3歳から12歳までの子どもと保護者を対象としたドラゴンボート体験乗船を実施しました。親子で力を合わせて漕ぎ出した参加者たちは、国内無敵の強豪チーム「磯風漕友会(いそかせそうゆうかい)」

「SUPER DOLPHIN(スーパードルフィン)」による楽しい指導のもと、約2300年もの伝統を持つドラゴンボートに乗り込



み、櫂を振るって穏やかな海を遊覧。そしてドラゴンボートレースでは、しぶきを上げながら疾走する風となりました。

今回は猛暑の中での開催

でしたが、両チームの青年たちの素晴らしいサポートや、アイデア満載の暑さ対策のおかげもあって暑さすらも満喫!乗船を通じて協働性の重要性を学び、親子のふれあいや絆を深めることができました。参加者からは「全員の気持ちが合ってスピードが上がった瞬間が大変心地よかった。」「みんなで協力することの大切さを我が子に学んでもらえた。」といった感想をいただいています。(高橋 弘樹)



淡路青少年本部

第31回淡路青少年の主張大会

～ふるさと淡路の担い手となる青少年のメッセージ～

8月29日(土)、洲本市民交流センターで「第31回淡路青少年の主張大会」を開催しました。今年も、小学生高学年の部、中学生の部の作文募集に対し、島内の小中学校から913作品の応募があり、事前選考を通過した入選者12名が、それぞれ日頃の思いを主張しました。

小学生高学年の部では、命の大切さ、将来の夢、自然豊かな淡路島への思い、淡路島に大学を作ろうなどの発表がありました。中学生の部では、家族の大切さ、SNSについて、平和へ



の思い、音楽の持つ力、いじめや犯罪を減らすことなどの発表がありました。壇上で熱弁をふるう子どもたちの青少年らしい主張に、審査員をはじめ、聴衆もさわやかな感動と勇気をもらいました。



また、アトラクションには、洲本高等学校音楽部に出演いただき、大会の運営には、洲本高等学校放送部、洲本実業高等学校ボランティア同好会の皆様の協力をいただきました。なお、中学生の部においては、「少年の主張兵庫大会」の淡路地区予選を兼ねて行われました。(山形 真理)

～information～

ひょうご青少年社会貢献活動交流フォーラム への参加者募集

社会貢献活動に携わる青少年、社会貢献活動実施団体、企業、高等学校・大学関係者等が一堂に会し、情報交換等を行います。

開催日 平成 27 年 12 月 16 日(水)13:30～16:30
場 所 兵庫県民会館 11 階 パルテホール
人 数 80 名程度
内 容 事業実施団体活動発表、グループワークなど
参加費 無料
問合せ 青少年本部 活動支援部 078-891-7410

ひょうご青少年活動フェスティバル への参加者募集

青少年自らがフェスティバルの企画・運営を行い、青少年団体・グループの活動をアピールするとともに、青少年活動を広く県民の方々に知ってもらい、活動に参加する子どもや若者を増やすため開催します。

開催日 平成 28 年 2 月 11 日(木・祝) 10:00～16:00
場 所 元町商店街
内 容 体験コーナー、スタンプラリーなど
参加費 無料
問合せ 青少年本部 活動支援部 078-891-7410

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での特典措置の対象になります。
ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています。

次代を担う青少年を育成するために、ぜひ皆さまのご協力をお寄せください。

[会費] 賛助会員(個人) 年額 1 口 2,000 円以上

賛助会員(法人) 年額 1 口 10,000 円以上

詳細は、兵庫県青少年本部、又は各地方青少年本部までお問い合わせください。

賛助会員カードを呈示すると、以下の施設で入館料・入園料割引等の特典を受けることができます。

- ◇施設 本人および同伴1名(神戸市立博物館は本人のみ)に団体割引料金適用
- ◇兵庫県民会館レストラン・喫茶「ピッコロ」・理容室「今井」 本人のみに10%割引
- ◇県立兎和野高原野外教育センター レンタル料割引

兵庫県立美術館

《特別展》
「パウル・クレー
だれにも ないしょ。」展
9月19日(土)～11月23日(日・祝)
TEL 078-262-0901
(神戸市中央区)

兵庫県立 人と自然の博物館

《新展示》
「ひょうごの岩石と鉱物」
11月1日(日)～ 常設
TEL 079-559-2001
(三田市)

兵庫県立考古博物館

《特別展》
王墓の埴輪
10月3日(土)～12月6日(日)
TEL 079-437-5589
(播磨町)

兵庫県立歴史博物館

《特別企画展》
いずしやま
出石焼
—但馬のくらしとやきもの—
平成28年1月16日(土)～3月6日(日)
TEL 079-288-9011
(姫路市)

兵庫陶芸美術館

《開館 10 周年記念特別展》
THE TAMBA(秋)
—秋麗に古丹波を愛でる—
9月19日(土)～11月29日(日)
TEL 079-597-3961
(篠山市)

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

《秋季企画展》
「自然災害に私たちは
どう備えるのか」
～12月6日(日)～
TEL 078-262-5050
(神戸市中央区)

神戸市立博物館

《特別展》
100のモノが語る世界の歴史
大英博物館展
9月20日(日)～平成28年1月11日(月・祝)
TEL 078-391-0035
(神戸市中央区)

兵庫県庁2号館 B1 食堂「のじぎく」

割引
コーヒー 10%割引
(但し 11:00～13:00 除)
TEL 078-362-2509
(神戸市中央区)

兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」

フェニックス共済



年5,000円で最大600万円
あらゆる自然災害の「もしも」に備えます



公益財団法人
兵庫県住宅再建共済基金
☎078-362-9400(コールセンター)
(平日 9:00～17:00)

フェニックス共済

検索

◆◆ 編集後記 ◆◆

2年目を迎えたふるさとづくり青年隊には、県内外 29 市町から学生 32 人を含む 158 人が参加。また、女性は昨年 の 27 名から 50 人と大幅に UP!

多様な地域課題の解決には、若者や女性の力が不可欠です。今後ますますの活躍に期待しています。(0)